

平成 24 年度 習志野市総合防災訓練 避難所開設訓練実施結果 報告書



平成 24 年 10 月 28 日（日）10 時～
サブ会場（香澄小学校）

目 次

1. 訓練実施結果概要	P 1
2. 訓練参加者アンケート用紙	P 4
3. アンケート結果	P 5
4. 意見交換会次第	P 7
5. 意見交換会開催結果	P 8
6. 訓練写真	P11

訓練実施結果概要

訓練名称	平成 24 年習志野市総合防災訓練（サブ会場訓練）避難所開設訓練		
日時	平成 24 年 10 月 28 日（日） 午前 10 時 00 分から午後 1 時 45 分 ※正午～午後 1 時 45 分は意見交換会（兼）香澄小による県内 1000 か所ミニ集会		
会場	香澄小学校（体育館・校舎・グラウンド）		
目的	東日本大震災の教訓を踏まえ、共助力の強化のため、地域・学校・市のそれぞれが避難所の開設手順を理解し、確認・検証する。		
訓練参加者	（１）香澄地区関係者（香澄連合町会長、香澄芝園地区まちづくり会議議長、 香澄地区自主防災組織連絡協議会、日赤奉仕団香澄分団、避難者役地域住民） （２）香澄小学校職員・幼稚園職員 （３）習志野市職員（地区対策本部職員・その他訓練運営職員） （４）習志野市教育委員会職員（避難所配備職員）		
避難者数	172 名	見学者数	72 名
訓練想定	10 月 28 日（日）午前 7 時 00 分、東京湾北部を震源とするマグニチュード 7.3 の地震が発生し、習志野市で震度 6 強を観測した。 地震の発生に伴い、市内全域で建物が倒壊し、死傷者が多数出るとともに、道路損壊により通行支障が生じている。 地震直後に各地で発生した火災は、地域住民の初期消火活動及び消防署・消防団の活動により大部分が鎮火した。 市内の駅に帰宅困難者等が発生するなどの目立った混乱は発生していない。 また、この地震による津波は発生していない。津波警報等の発表もなし。 <u><午前 10 時現在の状況（訓練開始時間）></u> 「香澄地区」においても、建物の倒壊が発生するとともに、液状化によって地中埋設物が被災し、ガス・上下水道が一部停止しており、この復旧のめどは立っていない。 指定避難場所である「香澄小学校」においては、日曜日のため児童はいないが、自宅が倒壊・損壊した地域住民の他、ライフラインが停止し自宅での生活が困難となった地域住民が、助けを求めて避難してきている。 現在、非常参集してきた学校職員が到着し、施設の開門・解錠が完了したところである。		
実施項目	①体育館安全点検（学校職員） ②体育館内にて避難者受け入れ準備（自主防災組織・学校職員・避難所配備職員） ③避難者受け入れ（自主防災組織・学校職員・避難所配備職員） ④リーダー・各活動班の選出（自主防災組織） ⑤炊き出し訓練（自主防災組織・日赤奉仕団香澄分団） ⑥市災害対策本部との情報連絡（地区対策本部職員） ⑦意見交換会（訓練参加者） ⑧訓練参加者（避難者）へのアンケートの実施		

意見交換会及びアンケート結果から見た今後の主要な課題	避難所運営マニュアルや今後の訓練の参考とするため、参加者を対象とした意見交換会及びアンケートを実施した。それらの結果を踏まえ、今後の主要な課題として以下の４点にまとめた。※アンケート実施結果の詳細は別紙を参照。 (１) 避難所となる学校に常備しておく物品や各種必要書類（様式）の精査 訓練を通して明らかとなった必要物品を揃えるとともに、いくつかの様式について改善を行う。 今後は、避難所に指定している各学校に必要物品を常備して、市内で共通した活動が行える体制を構築する必要がある。 (２) 夜間や児童が学校にいる時間帯など、様々な場面の想定 今回は最も条件の良い形で訓練を行ったが、今後、いろいろな場面を想定して訓練を実施していくことや、地域住民同士、また、学校や市を含めた形で避難所の開設をマニュアル化していく必要がある。 (例：施設の安全点検の対応順位「①教職員」→「②学校開放委員」→「③自主防災組織」など) (３) 避難所に対する認識の統一化（地域住民や学校、市） アンケートの結果から、訓練を通して避難所の開設の流れについてはある程度イメージを持てたと考えられるものの、まだまだ避難所に対する認識には差があると思われる。今後は、市からの情報発信を強化し、広く市民に避難所の意味を理解してもらい、学校や市など関係する全ての人たちの認識の統一化を図る必要がある。 ＜主な事項＞ ①「避難場所」と「避難所」の違い ② 避難所に指定されている施設の対応 ③ 避難所における生活環境等の実態 ④ 避難所への避難の必要性 など (４) 地区対策本部と市災害対策本部の情報連絡体制 東日本大震災でうまく機能しなかった地区対策本部について、東日本大震災での教訓を踏まえて、今回試験的に、『市災害対策本部との情報連絡機能に限定』した形で地区対策本部を設置・運営した。 地区対策本部を避難所とは別の場所（校舎１階空き教室）に設置したことにより、避難所の喧騒を避けての通信が可能となり、有効な情報連絡ができた。 この結果を踏まえて地区対策本部のあり方を具体化する必要がある。
訓練主催者 (危機管理課) の所見	【避難所開設訓練】 (１) 初めての訓練であったため準備に多くの時間を要したが、香澄地区自主防災組織連絡協議会や学校職員等から多くの支援をいただき、概ねの目的は達成できた。 (２) 訓練参加者や避難者に対して、ホワイトボードへの記入や訓練想定を書面で配布するなど、訓練の想定や香澄地区の被災状況（仮想）を明確に伝える必要があった。(情報発信・伝達体制の強化への課題につながる)

	(3) 見学者へ何をしている場面なのかを分かりやすくするため、実際に訓練で 使用している資料の配布や訓練の詳細な説明が必要であった。 (4) 避難者に記入してもらった「避難者カード」を回収して、最終的な避難者 数を集計するまでの訓練を実施する必要がある。 (5) 訓練実施の広報を行う中で、訓練参加者と見学者の取扱いの違いを明確に して広報する必要がある。(今回：香澄地区住民→避難者、以外→訓練見学者) (6) 訓練の進行や時間配分をもう一度検討する必要がある。(視察にきた来賓者 の紹介なども含め) 【地区対策本部設置・運営訓練】 (1) 情報をメモする一覧表（フォーマット）を予め定めておく必要がある。(ホ ワイトボードがない場合や記入スペースがなくなった時の為に、手書き用の 紙ベースの物を準備する) (2) 筆記用具（鉛筆・消しゴム）を追加で設置する。 (3) 「地区対策本部→避難所→地域住民」という流れで情報の提供も考慮する。 (今回は、地区対策本部が受け身となってしまう、情報の発信が市災害対策 本部宛のみに留まっていたため) 白紙に手書きで記入した情報を地区対策本 部又は避難所内に貼り出すことも必要となる。(いつ時点・情報の発信元・内 容・今後の対応など) (4) 現地で活動する職員が市職員であることを市民に分かりやすくするため、 防災服（帽子含む）を支給する必要がある。(他市では統一した防災服や帽子 を支給している) (5) 今回訓練を実施した体制（校舎の空き教室に設置・地区対策本部職員と避 難所配備職員を分ける体制）は比較的スムーズに実施できた。今後、「市内に 何箇所地区対策本部を設置するのか」、「何人の職員を配備するのか（2人～4 人）」などの体制を、早い段階で決める必要がある。 (6) 災害発生時は多層的な通信手段が必要となることから、無線の他に PHS の 配備を検討する必要がある。(震災時の有効性や、他市での導入実績もあるた め) また、各学校の事務室に設置している IP 電話が東日本大震災の時に有効 であったため、事務室に隣接した教室への地区対策本部設置も考慮する。
問合せ先	企画政策部危機管理課 電話番号：047-451-1151（内線 561）

＜■開催日：平成24年10月28日（日） ■場所：香澄小学校＞

Q1. 該当する年齢（年代）を選択してください。

- Q2. 昨年3月11日の大震災の時、避難所に避難されましたか？

- Q3. この訓練があることを何で知りましたか？（複数回答可）

- Q4. 避難所を開設する流れ（施設の安全点検 → 受付 → 避難者カードへの記入 → 避難所リーダーや各活動班の選出）を知っていましたか？

- Q5. Q4で「2. 知らなかった」と回答した方にお伺いします。

この訓練に参加したことで、避難所を開設する流れをイメージできましたか？

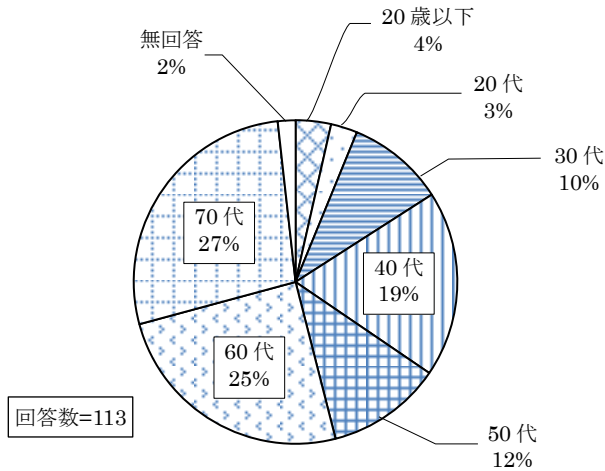
- Q6. 訓練全般を通してご意見等がありましたらご記入ください。

◆アンケート用紙は、体育館入口付近のアンケート回収ボックスに入れてください。

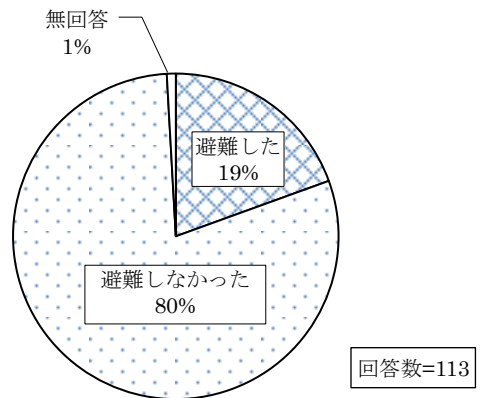
平成24年度習志野市総合防災訓練 避難所開設訓練 アンケート実施結果

[配付総数 126 回答数 113 回答率約 90%]

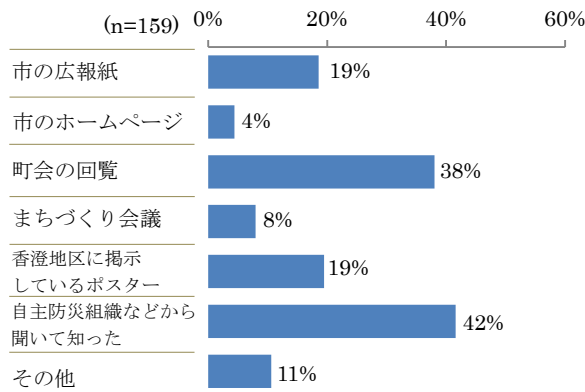
Q1. 該当する年齢（年代）を選択してください。



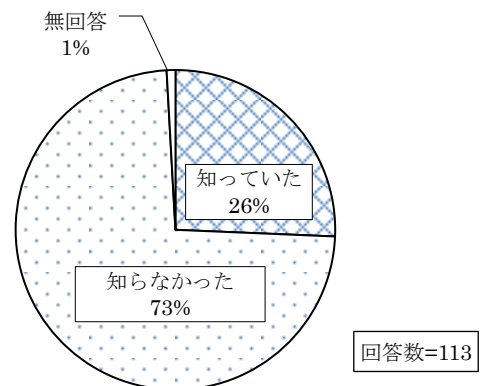
Q2. 昨年3月11日の大震災の時、避難所に避難されましたか？



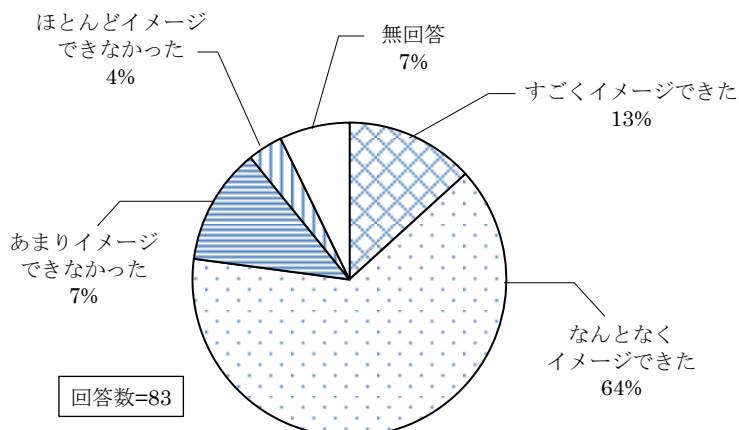
Q3. この訓練があることを何で知りましたか？
(複数回答可)



Q4. 避難所を開設する流れ(施設の安全点検→受付→避難者カードへの記入→避難者リーダーや各活動班の選出)を知っていましたか？



Q5. Q4で「2. 知らなかった」と回答した方にお伺いします。この訓練に参加したことで、避難所を開設する流れをイメージできましたか？



Q6. 訓練全般を通してご意見等がありましたらご記入ください。

※この結果については、別紙「Q6の自由意見欄回答一覧」のとおり

「Q6」の自由意見欄回答一覧

- ・本部に必ず人がいなくては困ると思う。避難所に行った方が情報が得られると思っていたが、2～3日は自宅にいた方が良いとしり、びっくりした。
- ・町の避難訓練については、各町会・防災会の準備で成り立っているところがあるが、実災害時は各会の方々も避難民になるだろう。より町民全体が知らないといけないと思う。
- ・将来的には、平日と休日の両方のパターンで訓練してほしい。学校が空いていない時間は、体育館や校舎は速やかに解放されるのか教えてほしい。津波を想定して校舎の高いところに避難する訓練を行っている聞いた。近隣に住む人を含めた津波の避難訓練もやってほしい。
- ・避難所の開設を教職員を中心に行っていたが、実際には子供の対応で動けないと思う。立ち上げる人をどう決めるか、また立ち上げ方を知らない人でも最低限のことはできるように、体育館の入口付近に最低限のマニュアルを置いておき、それを周知するなどが必要ではないか。
- ・今日はスムーズに進んだが、ここに参加したのは住民のごく一部である。160名程度で体育館は7～8割埋まっている。実際の避難は大変な混乱になると思う。各人がいかに指示に従い、協力するかが重要だと思う。
- ・もう少し本格的な訓練ができればよかったと思う。危機管理監の話が具体的でためになった。
- ・安全点検後、開設している状況が、外で待っている避難者に伝わらなく、不安であった。進捗状況をお知らせするようにしたらいかがか。町会の被害状況も知らせてほしい。(訓練の中に入れておいたら良い)
- ・避難所内は1丁目に公団・市営・県営・県警と4つの自治会があるので、場所を分けた方がよい。
- ・はじめて参加しましたが、非常に参考になった。ありがとうございました。
- ・ご指導ありがとうございました。いざという時に役立てられればうれしいです。
- ・体育館での生活の参考になった。
- ・訓練は大変参考になった。
- ・目耳の不自由な母がいるので心配です。が、訓練に参加し様子が少しわかりよかったです。
- ・市民が一体となり参加できるイベントとしてさらに活発に催していただきたいです。
- ・防災の組織づくりの皆様のご苦勞がよくわかりました。若い職員の方たちが頑張っておられることに期待したい。心強く感じた。この訓練を通しての地区ネットワークの参考になるのでは。
- ・訓練なのでそれほど混乱はなかったが、受付が少ないといざという時には回らなくなるのではないか。
- ・受付のところが大変混雑することが予想されます。受付をいかにスムーズにするかがとても重要な事になると考えます。
- ・体育館入口での名前記入はありえない。今日よりも本番はもっと混雑するはず。もっとスムーズにできないものか。子どもだけで避難所に来る人もいるので、声掛けが必要。夜の訓練も必要ではないか。
- ・受付の案内、人の流れが非常に悪い。
- ・避難所入口で混雑していた。災害時ではその混雑は想像を超えるものと思う。体育館に土足で歩くブルーシートの通路を作り、各ブロックで脱靴させた方がよい。
- ・訓練と現実の差が相当あると考えられる。
- ・入口に案内板を出してもらいたい。
- ・入口の受付の再考が必要。
- ・情報掲示板が活用されていない。もっと情報を。避難所開設訓練なのだから、開設にあたっての流れのようなものが必要なのでは。
- ・思ったより参加人数が少なかったのが残念でした。
- ・何回も繰り返し訓練が必要である。防災放送が聞き取りづらい。
- ・職員の方々がやってくれたが、実際は自分たちでやるのかと思うと、たいへんだと思った。
- ・臨場感が薄い
- ・指示の音がよく聞こえない。
- ・事前の説明や周知をもっと徹底した方が参加者が増えると思う。市の防災無線が聞き取り難く改善が必要だと思う。市内各所での屋内での聞こえ方等をチェックし、空白地域の内容にすべき。
- ・子どもの参加が必要かと思いました。
- ・夜間(停電時)の避難所開設訓練もお願いします。
- ・何もしていない気がします。
- ・スタッフの方も、参加者も、危機感がかけていると思った。
- ・訓練だけではなく津波が来た時に避難できる場所を作ることにも早急に検討すべき。

平成24年度習志野市総合防災訓練サブ会場訓練
「避難所開設訓練」に伴う意見交換会（兼）県内1000か所ミニ集会

- 日 時：平成24年10月28日（日）12時～13時
○場 所：香澄小学校体育館
○参加者：①香澄連合町会長 ②香澄・芝園まちづくり会議議長
 ③香澄地区自主防災組織 ④避難者役地域住民 ⑤香澄小学校職員
 ⑥香澄小学校評議員 ⑦香澄小学校PTA
 ⑧訓練参加市職員（地区対策本部職員・避難所配備職員）
 ⑨習志野市危機管理監 ⑩習志野市危機管理課
○内 容：避難所開設訓練に参加して、それぞれが感じたことや改善点等について意見
 を出し合い、今後の訓練や避難所の運営体制等の参考とする。

＜意見交換会 次第＞

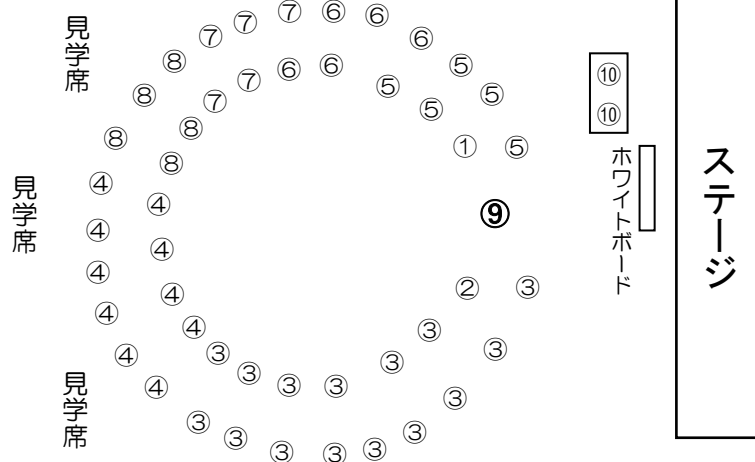
- 進行：太田危機管理監
- 司会：千葉主任主事
- 記録：谷澤主事

1. 開会
2. 習志野市危機管理監・香澄小学校校長 あいさつ
3. 「避難所開設訓練」に関する意見等について
4. その他「防災対策全般」について
5. 閉会

[会場レイアウト]

- ※1 図のように、いすを2列配置して座ります。
※2 座る位置はおおよその目安です。
※3 意見交換会の見学は可能とします。

参加者内訳	人数
①連合町会長	1人
②まちづくり会議議長	1人
③自主防災組織	15人
④避難者地域住民	10人
⑤小学校職員	5人
⑥学校評議員	5人
⑦小学校PTA	5人
⑧市職員	5人
⑨危機管理監（進行）	1人
⑩危機管理課（記録）	2人
合計	50人



意見交換会開催結果

1. 意見交換会においては、まず、訓練参加者から訓練の印象や感想を一人ずつ述べていただいた。
以下に示すとおりである。(各意見の右に示した①～⑪は、市からの回答を後述する。)

〔香澄地区住民〕

- ・情報をどのように伝えるのか（ホワイトボードでは不足）。…………… ①
- ・大人や子供を区別したカウントが必要である。
- ・重複して受付を行うなど、受付の対応の準備不足を感じた。記入にも時間を要し、
受付が混乱した。…………… ②
- ・町会として防災用品（筆記用具も含め）の事前把握が必要である。…………… ③
- ・避難者を待機エリアに土足のまますぐに誘導してはどうか。…………… ④
- ・丁目を6つにするのではなく10町会とすべき。…………… ⑤
- ・避難所は安心感を持たせる必要がある。（救護所の存在を明確にする）…………… ⑥
- ・危険な場所に誘導員を立てる必要がある。
- ・役員の選任順を事前に決める必要がある。
- ・訓練の内容が物足りなかった。
- ・学校の鍵の管理はどのようになっているのか。（地域に住んでいる市職員は？）…………… ⑦
- ・7中の裏門の鍵がなく、意思疎通ができていなかった。
- ・避難所のいろいろな段取りがよくわかった。
- ・防災体制全般についてあまり浸透していないので広く市民に対して説明がほしい。…………… ⑧
- ・テレビで見たものと同じだった。

〔自主防災組織〕

- ・障がい者の受入れも考慮する必要がある。
- ・避難場所と避難所の違いが不明確である。…………… ⑨
- ・違う町会と協力してできたため、絆が深まった。
- ・開設するために市の職員を待っていたら間に合わない。
- ・マニュアルの存在より、リーダーの存在が大切（リーダーを決めるマニュアルが必要）…………… ⑩
- ・震災を経験した割には、一般の参加者が少なかった。ひとを集める手段を工夫する。
- ・町会ごとの受入れを実際も想定しているのか。…………… ⑪

〔地区対策本部職員〕

- ・情報が同一かどうかの確認など、情報の整理にはまだ課題がある。
- ・無線のやりとりはいい経験になった。
- ・情報量が増えた時の対応に課題がある。

〔避難所配備職員〕

- ・避難所リーダー用のベストも必要である。
- ・今回の訓練を基に、さまざまな想定に対応して改善する必要がある。
- ・情報を地区対策本部へ伝えることと避難者への対応のどちらを優先すべきか。

〔習志野警察〕

- ・災害時の警察官の服装を覚えてほしい。
- ・訓練を楽しむことも大切。(繰り返し訓練する)
- ・避難所には地域以外の人も来るため、防犯対策も必要である。
- ・こどもも参加することが重要である。
- ・帰ったら子供に避難所の場所を伝えてほしい。

〔香澄小学校職員〕

- ・今回の訓練を参考にマニュアルなどを見直していきたい。
- ・発災時に学校がしまっていたら、地域の方々に開放してもらう。
- ・こどもが学校にいる時間は、地域住民への対応は難しい。

〔学校長〕

- ・表示物（ベストなど）をそろえる必要がある。
- ・今回は、開設に絞ってよかった。
- ・想定を変えて実施する必要がある。

〔石谷連合町会長〕

- ・誰が鍵を開けるか、学校開放委員（5名）など、みんなで話し合いたい。
- ・曜日や時間が変わればまったく状況が違う。
- ・目に見える部分の破損はわかるが、それ以外の点検はどうするのか。

〔宮本まちづくり会議議長〕

- ・今回の訓練を震災が起こる前にやっておけば状況は変わっていただろう。
- ・学校と本部の情報のやり取りができていない。

[意見①～⑪に対する市（危機管理監）からの回答]

- ①情報は自ら取りに行くものである。
- ②災害時はもっと混乱する。今日はスムーズな方である。
- ③市内の全小中学校に防災倉庫を設置予定である。
- ④避難所内の土足は、衛生面、足音の両面から厳禁とする。
- ⑤今回の訓練でそのようなものを含めいろいろな課題がわかった。
- ⑥医師は応急救護所へ行くため、救護班はすぐには来ない。
- ⑦それらを地域で話し合って決める必要がある。
- ⑧市からの発信とともに、住民自らが学ぶことも大切。
- ⑨避難場所は一時的に身を守る場所。
- ⑩混乱時にはリーダーの指示がすべてであるので、リーダーは極めて重要。
- ⑪避難所は誰にでも開かれた場所である。

2. 続いて、下記 2 点について意見交換を行い、「これらのルールについては地域で決めることが望ましい」という市の考え方を示した。

①障がい者への対応について（地元の人と一緒に場所か、別の場所を作るか？）

意見 1

町会に溶け込んでいる障がい者もいるが、そうでない方もいるので、障害者の情報を自主防に欲しい。

意見 2

町会とは別のところに場所を設けた方が良い。

②ペットの対応をどうするか

意見 1

ペットが嫌いという人もいるだろうから、ペットは自宅においてくる。

意見 2

東日本大震災では連れてきた人が多数いた。→避難所内には入れず、プールの更衣室に入れ対応した。

◆平成24年度習志野市総合防災訓練 避難所開設訓練（香澄小学校）◆



香澄小学校へ避難する香澄地区住民



市職員による訓練内容の説明



香澄地区自主防災組織連絡協議会の各自主防災組織



避難所開設を待つ香澄地区住民



避難所（体育館）の周囲の安全確認を実施する学校職員



避難所（体育館）内の安全確認を実施する学校職員



避難所内に長机やいすを準備（避難所運営委員会用）



自主防災組織と学校職員が協力して準備を行う

◆平成24年度習志野市総合防災訓練 避難所開設訓練（香澄小学校）◆



受付を準備する自主防災組織と避難所配備職員



避難者受付を行う自主防災組織



避難所内の準備完了の合図により避難者受付を開始



避難者受付名簿に記入する避難者



避難者カード（各世帯に1枚配布）を記入する避難者



丁目（香澄1～6丁目）ごとに避難エリアを分ける



時間とともに避難者が増えていく様子



今回の訓練では172名が避難した

◆平成24年度習志野市総合防災訓練 避難所開設訓練（香澄小学校）◆



避難所リーダーを務めた石谷香澄連合町会長



各組（丁目）の組長を選出



各組（丁目）ごとの活動班を選出



警察官による避難者への個別相談



自主防災組織と日赤奉仕団香澄分団による炊き出し



豚汁を配る日赤奉仕団香澄分団



炊飯袋（ハイゼックス）で炊いたお米

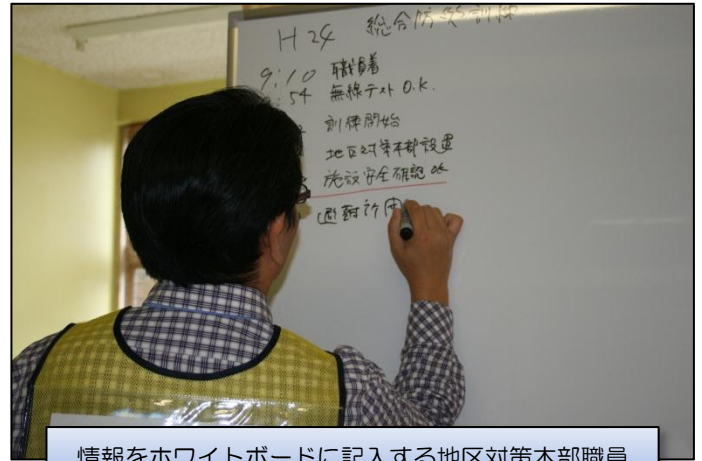


防災倉庫の炊き出し釜で作った豚汁約300人分

◆平成24年度習志野市総合防災訓練 避難所開設訓練（香澄小学校）◆



小学校1階の空き教室に「地区対策本部」を設置



情報をホワイトボードに記入する地区対策本部職員



無線により情報を市災害対策本部へ報告する



机の上に置いた地図を活用し情報を整理する



宮本市長による避難所開設訓練視察



太田危機管理監による来賓者への地区対策本部説明



訓練終了後に行った訓練参加者による意見交換会



訓練参加者により活発な意見交換が行われた



< 作成・編集 >

企画政策部 危機管理課 防災係